

**【表紙】**

**【提出書類】** 臨時報告書

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成24年 2月29日

**【会社名】** 富士古河 E & C 株式会社

**【英訳名】** FUJI FURUKAWA ENGINEERING & CONSTRUCTION CO.LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 小池文章

**【本店の所在の場所】** 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地 ソリッドスクエア西館

**【電話番号】** 044(548)4500 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 財務経理部長 西浦誠司

**【最寄りの連絡場所】** 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地 ソリッドスクエア西館

**【電話番号】** 044(548)4500 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 財務経理部長 西浦誠司

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【提出理由】

当社の財政状態、経営成績およびキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生しますので、金融商品取引法第24条の5第4項および企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号の規定に基づき、本報告書を提出するものであります。

## 2 【報告内容】

### (1) 当該事象の発生日

平成24年3月31日

### (2) 当該事象の内容

当社は、平成21年10月の3社（富士電機E & C、古河総合設備、富士電機総設）統合以来、新会社としての一体感の醸成、将来債務の削減、並びに、厚生年金支給年齢の繰り下げと税制適格年金の廃止に対応し従業員の自意識を高めつつ安心感も得られる制度構築のため、検討を重ねてまいりました。

今般、新会社として、平成24年4月1日より定年年齢を満65歳に統一するとともに、確定給付企業年金制度と確定拠出企業型年金制度とを組み合わせた新たな退職金制度への移行を実施することとしました。

この退職金制度の移行に伴い、退職給付制度改定損が発生し、特別損失に計上することとなりました。

### (3) 当該事象の損益に与える影響

当該退職金制度の移行に伴い、平成24年3月期決算におきまして、退職給付制度改定損14億50百万円を特別損失に計上する予定であります。

また、本制度改定により、退職給付債務（PBO）は126億円から43億円へと83億円削減され、次期以降の退職給付費用は、年間3億50百万円程度減少するものと見込んでおります。

以 上